

「DM補正ソフトウェア」操作説明書

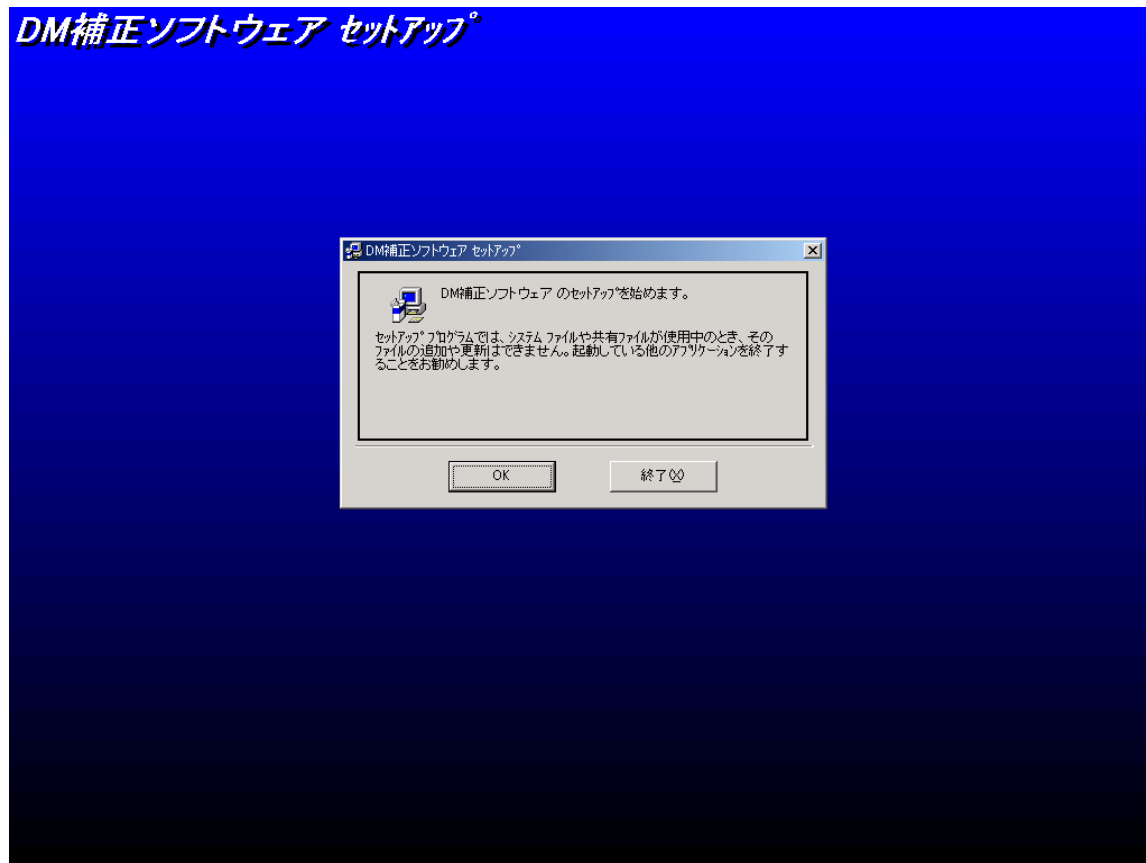
国土地理院


■ 「DM補正ソフトウェア」の概要

「PatchJGD」の座標補正パラメータファイルを利用して、数値地形図（以下、「DM」という。）データを地震後の座標値に補正するプログラムです。

■ 「DM補正ソフトウェア」のインストール

- ①DM補正ソフトウェアのプログラムをダウンロードします。
- ②「DM 補正ソフトウェア.lzh」を解凍します。
- ③「DM 補正ソフトウェア」のフォルダの中の「setup.exe」をダブルクリックします。
- ④クリックすると、下の画面が表示されますので、「OK」をクリックします。



- ⑤インストールするフォルダを指定し、 ボタンをクリックします。
- ⑥インストール完了です。
- ⑦指定したフォルダに「DM 補正ソフトウェア.exe」があることを確認して下さい。
(インストール時、プログラム実行に必要な*.dll等の既存のファイルを上書きするか聞かれることがあります。他のプログラムに影響しないように最新のファイルを利用して下さい。)

■座標補正パラメータファイルの準備

座標補正パラメータファイルは、国土地理院のHPからダウンロードして下さい。なお、ダウンロードする際は、必要とする地域の最新のパラメータファイルをダウンロードして下さい。

■「DM補正ソフトウェア」のアンインストール

アンインストールは、通常のアプリケーションと同様にスタートメニューから「スタート/設定/コントロールパネル」を実行し、「アプリケーションの追加と削除」を行います。

このとき、座標補正パラメータファイルの削除は行われません。マニュアル操作で削除して下さい。また、アンインストールを実行すると、プログラム実行に必要な*.dll等のファイルを削除するか聞かれる場合があります。このとき、他のプログラムに影響しないように削除せず、残しておくことをお勧めします。

■「DM補正ソフトウェア」の起動方法

スタートメニューから「スタート/プログラム/DM補正ソフトウェア」を指定して、「DM補正ソフトウェア」のプログラムを起動します。

■「DM補正ソフトウェア」の画面構成及び操作手順

メインの画面は、以下の通りです。

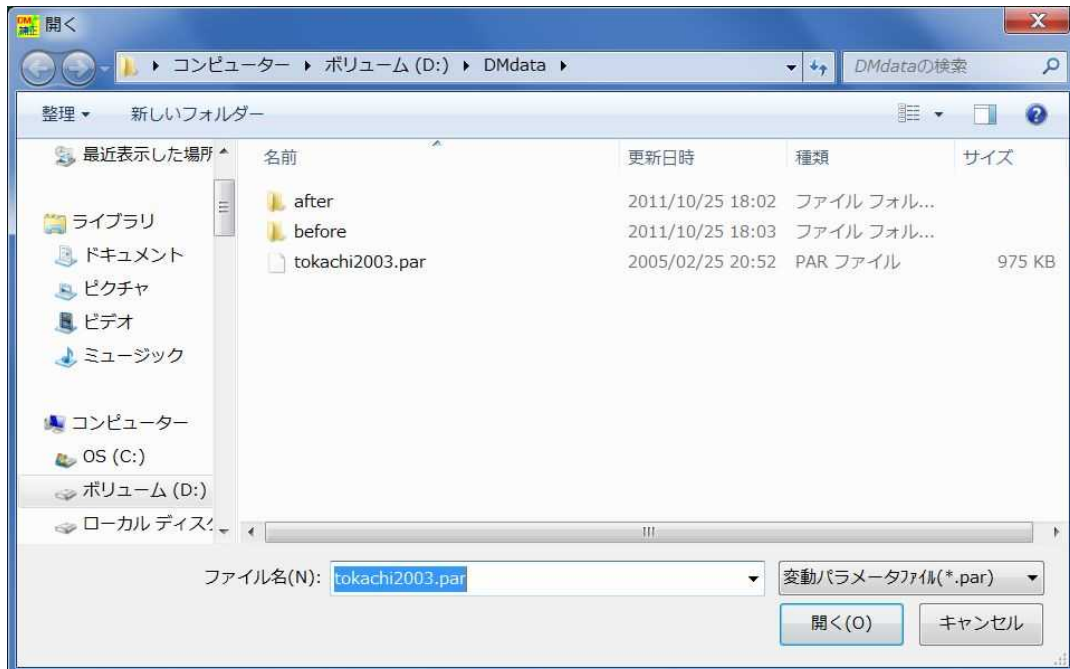
The screenshot shows the main interface of the 'DM 補正ソフトウェア' (DM Correction Software). The window title is 'DM 補正ソフトウェア' and the version is 'Version 1.0'. The interface includes the following elements:

- 入力フォルダ名:** Input folder name field with a browse button (...).
- 出力フォルダ名:** Output folder name field with a browse button (...).
- 修正履歴 (Correction History):**
 - 作成年月:** Creation date field, currently set to 11 year and 10 month.
 - 公共測量承認番号 (全角15文字):** Public measurement approval number field (15 full-width characters).
 - 作業機関名 (全角20文字):** Operation organization name field (20 full-width characters).
- 変動パラメータファイル: (不明)** Variable parameter file field (Unknown).
- 処理状況:** Processing status field.
- Buttons:** 'パラメータ指定' (Parameter Specification), '補正' (Correction), and '中止' (Stop).

1. 座標補正パラメータファイルの指定

メイン画面上の「パラメータ指定」で、座標補正パラメータファイルを指定します。国土地理院HPからダウンロードした必要とする地域の最新の座標補正パラメータファイル(*.par)を選択します。選択すると、座標補正パラメータファイルが読み込まれDM補正が可能になります。

(※注意※座標補正パラメータファイルは、編集しないで下さい。)



座標補正パラメータファイル指定画面



座標補正パラメータファイルを読み込んだ後のメイン画面

2. 入力フォルダ名の指定

補正したいDMデータを保存しているフォルダを指定します。指定する方法は、2通りあります。

- ①メイン画面上の入力フォルダ名の場所に直接入力します。
- ②メイン画面上の入力フォルダ名の右側にある「...」ボタンをクリックして、以下のダイアログを使用してフォルダを指定します。

フォルダ内にあるすべてのDM形式のファイルが補正対象となります。



ダイアログを使用したフォルダ選択画面

3. 出力フォルダ名の指定

補正後のDMデータを保存するフォルダを指定します。指定する方法は、2通りあります。

- ①メイン画面上の出力フォルダ名の場所に直接入力します。
- ②メイン画面上の出力フォルダ名の右側にある「...」ボタンをクリックして、上のダイアログを使用してフォルダを指定します。なお、フォルダ指定の場所に新規フォルダ名を直接入力した場合、新規作成の確認ダイアログが表示されます。また、既存フォルダの場合でも既に同名のファイルが存在するときは上書きの確認ダイアログが表示されます。

入力フォルダと同じフォルダが指定された場合、補正時に警告メッセージが表示されます。

4. 修正履歴の入力

「作成年月」、「公共測量承認番号」及び「作業機関名」に必要事項を入力します。入力したデータは、DMデータの図郭レコードに表示されます。なお、作成年月には、作業する日付を初期表示してあります。



必要事項を入力したメイン画面

5. DM補正の実施

画面上の補正ボタンをクリックし、補正処理を開始します。メイン画面の下側には処理状況（次頁図参照）が表示されます。

【次頁図の説明】

- ・「58.2%」は対象ファイルの補正処理が、58.2%終了したことを意味しています。
- ・「1317 行」は対象ファイルの補正処理が、1317 行まで終了したことを意味しています。
- ・「D:\DMdata\before\D1.dm」は、補正処理中のファイル名を表示しています。
- ・「(1/5)」は、分母が対象ファイルの総数、分子が(処理済み+処理中)のファイル数です。

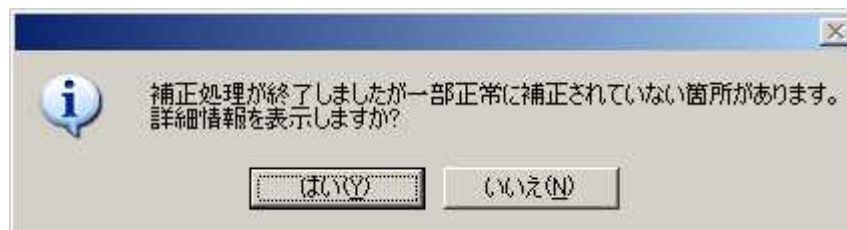


DM補正中のメイン画面

補正が正常に終了すると、以下のダイアログが表示されます。



正しく補正することができなかったときは、以下のダイアログを表示し、さらに詳細情報を表示することができます。詳細情報は、OS 付属のメモ帳で、「error.log」ファイルを表示します。詳細表示の内容を保存するときは、メモ帳の機能で「名前を付けて保存」して下さい。



(補足)

1. 測地成果識別コードへの対応について

本プログラムは、既存の世界測地系データを地殻変動に対応した世界測地系に補正するプログラムです。現在ある測地成果識別コードは以下のとおりです。

- 0 : 日本測地系
- 1 : 世界測地系
- 2 : 日本測地系から世界測地系に変換したもの

この他に新たに以下の測地成果識別コードを追加します。

- 3 : 世界測地系を地殻変動に対応した世界測地系に補正したもの

2. 地殻変動コードへの対応について

本プログラムでは、今後発生する地震で地殻変動が起こった際に、DM補正ソフトウェアの処理回数と、変動理由コードを記録することができます。

DMデータの図郭レコード(d)の11桁の空き領域を利用して、1桁目に処理回数、これ以後の10桁に2桁の変動理由コードを追加します。

座標補正パラメータファイルには15行の説明文等がありますが、この中に2桁の変動理由コードが加えられています。

例) for PatchJGD Ver.1.0.1 001

補正後のDMデータにはこの履歴が振られます。なお、地殻変動が重なった場合、日付での管理が出来ない仕様になっていますので、座標補正パラメータファイルの適用順序の管理にご注意下さい。また、仕様上、同じ図郭には5回の補正処理しか行えません。(5個分の地殻変動コードが格納可能です。)

3. その他

- ・本プログラムは、不整三角網には対応していません。
- ・本プログラムは、パラメータのない領域の補正処理を行いません。